

学校規模適正化基本計画（素案）に関する意見（公聴会以外）について

●意見聴取の状況

小学校の学区ごとに実施した公聴会以外の意見聴取として、各学校の教職員の意見、町ホームページ入力フォーム等での意見、各学校の学校運営協議会での意見について次のとおり取りまとめました。

●意見聴取内容

(1) 教職員の意見

各学校の教職員の意見を、書面または聞き取りにより取りまとめました。(45項目)

阿久津小学校教職員（3項目）

・第1段階の統廃合で阿久津小学校に中央小学校の児童が転入する場合、新たにスクールバスの運行が必要になると思われる。その際には、阿久津小学校のバス乗降場所をどこにするのか、学校付近は道路が狭く、徒歩通学児童が多いので安全面も心配される。

・阿久津小学校の学童は、利用人数が多く、現在4カ所で運営している。中央小学校の児童が転入する場合、さらに学童利用者が増えると施設のハード面が心配。

・現在、阿久津小学校の学年ごとの学級・児童数は、3年生の103人・3学級が最も多い。中央小学校からの転入で、1学年4学級になった場合の教室数の対応も心配。1学年4学級になる場合、最大3学年まではなんとか対応ができる想定としている。

中央小学校教職員（5項目）

・一気に統合した方がよい。2段階にすると学校も保護者もあわただしすぎる。施設や備品の管理を鑑みても、一気にいった方が負担が少ない。

・喜連川勤務時代に統廃合を経験しているが、本当に大変だった。前年度から準備を始め、児童、教職員はもちろん、PTA、地域の方との話し合いを何度も重ね準備を進めた経緯がある。一気に統廃合をした方がゆとりをもって準備することができる。

・中央小は学区が広いので、統廃合後の学区の再編成を綿密に進めてもらえるとありがたい。

・中央小では50周年を記念してPTAで校章旗を新しくする予定だったが、統廃合を鑑みると別の使い道を考えた方がよいか協議中である。

・今後入学を考えている保護者や新居を構える予定の保護者の立場になると、9年後に統廃合をした方が見通しをもって考えることができるのではないかと。

・校舎の改修費を鑑みても、統廃合は必須だと思う。

東小学校教職員（11 項目）

・望ましい児童数については、昨今の児童の実態を考えると 20 名程度が望ましいかと思
います。学校を建設するという事を考えると、2 段階での統合が適当かと思われま
す。

・中央小と北小が統合し、上高小と東小が統合し、その後に統合校になるように段階的に
進めていく方法でよいと思います。

・2 段階の統合計画は適当だと思います。

・4 校→2 校→1 校という統合の仕方がよい。

・2 段階の統合の考えをもとに住民とのやりとりを進めることが大切だと思う。中学校の
規模の偏りによる教育環境の不公平さについても並行して考えを進められるとよいと思
う。

・1 学級あたりの望ましい児童生徒数 20 人～30 人、1 学年あたりの望ましい学級数 2～
4 学級については、前提として持っていることはよいと思いますが、そこに当てはめよう
と地域を広げすぎたり、住民の思いをくみ取りきれなかったりすることのないよう丁寧に
進めてほしいと思います。

・児童生徒数の減少に伴い、複数校を統合し、小規模になりすぎない児童数で教育活動が
行うことができることがよいと思いました。

・統合しなくてはならないのなら、パターン 2 の方法でいいかと思ひます。

・統合することで 1 クラス 20～30 人になるのはよいのですが、職員数を増やしてほしい
です。小規模、少人数で校務分掌を分担して何とかこなしていますが、小規模、多人数で
は厳しいと思います。どのクラスにも副担のような方（校務分掌に関わることができる人
材）を配置していただけると助かります。

・2 パターンの方でも、いずれ 4 校が 1 校になることはわかりました。そのころは、北
中も 1 クラスになるのでしょうか。4 校統合小学校の児童は、北中進学？それとも、その
頃には中学校も統合？ですか。

・統合にあたってどのようなコンセプトをもった学校展開をしようとするか学識経験者
や地元企業の代表者など様々な立場の方の意見を聞きながら意味のある統合になるよう
願ひます。

上高根沢小学校教職員（11 項目）

・少人数での教育を今後も希望する保護者、児童のために、方策を考慮・検討する必要
があるかと思ひます。

・現在在学している（R 6 入学生を含む）児童・保護者の気持ちを考えて長期的な見通し
をもち、慎重な対応をしていただけることを望みます。小規模特認校制度についても将来
的なビジョンを町民にしめしていただきたく思ひます。

・小規模特認校を希望して本校に通学している児童・保護者の気持ちを第一に考え統合を
進めていただければと思ひます。また、統合を見据えて小規模の募集も検討していくべき
かと思ひます。

・児童や御家庭の負担を考えると、統合するならば一度で済ませたほうが良いと思ひま

す。期間などの具体的な見通しを示しながら、慎重に進めていただきたいです。

・地域の方の意見を踏まえた町の決定をお願いします。現在小規模特認の制度を利用して
いる児童のことも踏まえた決定をお願いします。

・様々な理由で特認校を希望する家庭・児童がいるので上高小特認校の継続がいちばん望
ましいと思います。しかしながらいろんな理由で統合する方向ならいつまで特認校の募集
をするのか明確に打ち出すべきかと思います。また、特認校を希望して在学しているので
その児童が卒業するまでは継続すべきかと思います。

・合併、閉校に伴う作業は、児童・教職員・保護者にかなりの負担がかかると思われるの
で、1回で済ませた方がよいと思います。しかし、施設・設備面で準備が整うことが大切
だと思うので、長期を見据えて、負担が最小になるように、計画的に進めて欲しいです。

・ゆくゆくは4校が1校になるのかもしれませんが、特認校として少人数での学びを希望
する方達のために上高が残ることも有りかと思います。

・合併することは賛成であるが、年々配慮が必要な児童が増えていると感じられるので、
対応する教職員の配置が必要であると思う。

・令和6年度の新1年生は小規模特認校制度応募者はなかった。学校規模適正化の影響も
あると考えられる。そうなると、来年度以降も小規模特認校制度の応募者は期待できず、
学区内の児童での学級編成になれば、再度複式学級になることも想定されるので心配であ
る。

・令和6年度の入学生を含む在校生は、学校規模適正化により卒業前に転校を余儀なくさ
れることは説明を受けていない。そこで、在校生が卒業するまでは統廃合を待って、上高
根沢小学校を卒業させることはできないのか。もし、在校生が卒業前に転校を余儀なくさ
れるとなれば、保護者や児童に説明が必要と考えるが、その際には町教委からの説明をお
願いしたい。

北小学校教職員（5項目）

・教職員は全員統廃合に賛成。

・2校ずつではなく、やるなら一気に統合した方がよい。学校の維持費、管理費を各校に
分散するより、支援の先生を増員することに予算をかけることが児童のためになる。学校
としても、児童を見る目が多い方が助かる。

・児童数が減ってきているので、資料に書いてあるように今後は阿小、西小、統合小の3
つに統廃合するほうがよい。

・段階的に統合するよりも、一度に統合してしまったほうが負担が少ないかと思う。施設
や備品の管理の点からも2段階にすると同じ手間が2回かかることになる。また、プール
も各校老朽化しているので、町で集約したほうがよいと思う。

・地域の方も、子育て世代の母親の「複数学級ある環境で子どもを育てたい」という思い
を受け、統廃合に前向きな姿勢に変わった。

西小学校教職員（6項目）（アンケート調査結果：教職員35名）

【望ましい学校規模の考え方についての自身の考え】

- ・増加している発達障害グレーゾーンの子への対応や教師の負担軽減、個別対応の充実のためには、1学級あたり20人程度の学級編成が望ましい。
- ・目の行き届いた教育、一人一人に必要な対応を可能とするには1学級あたり最大25人以下でないと難しい。
- ・1学級あたり30人以上となると環境に適應できない子がいるので、1学級あたり20人～25人が望ましい。
- ・子どもの活躍の場を広げるためには、1学級あたり25人程度の学級編成が望ましい。
- ・小学校、中学校とも1学年あたり2～4学級程度が望ましい。

【小規模校4校を1校に統合する方法がよい】回答率50%

- ・段階的に統合を行うより、児童や学校への負担が少ない。
- ・将来の児童数減少が確実な状況が分かっている。
- ・段階的に行うにも、施設・設備等の維持管理費がかかる。
- ・保護者や地域が心配ではあるが、一定の準備期間を設けて実施するのであれば、子どもは適應力が高いので、統合するなら1回で済むのがよい。

【小規模校4校を2校に統合した後、2校を1校に段階的に統合する方法がよい】回答率50%

- ・小学校の存在が地域に及ぼす影響力が非常に大きいことを考えると、段階的な統合にする方がよいのかもしれない。

【中学校2校を維持する方法がよい】回答率47%

- ・中学校の大規模化は、氏家中学校を例にとると望ましいとは言えない。
- ・同一町内で競い合うという意味では、2校維持した方がよい。
- ・北高根沢中が1学年2学級維持できるのであれば、2校維持した方がよい。
- ・人数差を少しでも解消するために、中央小、北小、東小、上高小は北高根沢中に進学するようにする。
- ・通学距離の心配があるので、安全を考えると2校維持した方がよい。

【新たな場所に新設して中学校を統合する方法がよい】回答率47%

- ・通学距離や場所の選定等の様々な課題はあるが、維持管理費等のコスト減につながるのであればよい。
- ・自転車通学が可能な場所への新設がよい。
- ・将来的な統合が必要な試算が出ているのであれば、よい環境で教育を受けさせたい。
- ・新設までに要する既存施設の多額の修繕費や改修費、新設までの長い時間が必要となるのではと不安である。

【既存校のどちらかに中学校を統合する方法がよい】回答率6%

阿久津中学校教職員（2項目）

・小学校統廃合のプロセスは、2段階統廃合（4校→2校→1校）より1段階統廃合（4校→1校）がよい。2段階統廃合だと、児童によっては2回環境が変わり、その分新しい環境に馴染む必要がある。また、その分新たな出会いがあり、その出会いがうまくいけばよいが、そうでないことも考えられる。児童にとって負担が少ない方法がよいと思う。

・校舎のキャパの問題で2段階統廃合を検討しているのであれば、東小学校と北高根沢中学校の既存施設を活かした義務教育学校という方法もあると思う。1～4年が東小学校の既存の校舎を利用し、5年生以上は北高根沢中学校の既存の校舎を利用することも可能ではないか。

北高根沢中学校教職員（2項目）

・教職員からは統廃合に反対の意見はない。

・中学校は受け入れる側なので、今後大きな対応を迫られてはいない。しかし、いずれ中学校も1つになる時代が来ることも十分に予想されるので、そうなった場合は地理的な観点から考慮しても、町の中心部への移転が望まれるだろう。

（2）町ホームページ意見入力フォーム等からの意見（3名）

意見1（中央小保護者）（問合せフォーム）

昨日、中央小学区住民に対して行われた学校規模適正化基本計画の説明会に参加させていただいた者です。さまざまな意見にご回答いただき、ありがとうございました。昨日の様子を部活から帰ってきた娘に話したところ、ひとつお伝えしたい意見があり書かせていただきます。

娘は今回の公聴会で、学校統合される子どもたち自身に関する質問がでなかったことに失望したと意見しております。統合に関する議論が起きた当初から、「当事者」である子どもたちにアンケートなどひとつもなく事が進んでいることに疑問を感じるそうです。娘は中学生であり、あと数年で高根沢町以外の学校に進学していく可能性が高いです。それでも母校である中央小のことはいつも気にかけています。そして、自分がかつてそうであった現在小学校に通っている児童たちが、この問題に高い関心を向けているにも関わらず、大人たちだけで色々なことが決定されていくことは大きな問題があるのではないか、と言っています。自分は昨日部活動の練習試合で公聴会には参加できなかったが、できれば参加してこの意見を言いたかった、というのです。また、昨日参加されていた大人たちからこのような意見が出なかったことに失望した、とも言っています。小学校1年生の子どもでも、きちんと自分の意志を持っているのだから、その声に耳を傾けた上で統合の話を進めるべきである、というのは至極真つ当なことであると私も感じました。子どもたちの意見を聞くと話が混乱する、また、今学校に在籍している子どもたちはどうせ統合時には卒業してしまいますから関係ないとお考えはあるかもしれませんが、統合の問題が実際に動き出すころ大人になっていく子どもたちが「高根沢町

はどうせ子どもたちの意見なんか聞かない」と考え、町に失望する前に、子どもたちの声に耳を傾けるべきではないでしょうか。

今夏、娘は中学生として、町議会で意見を述べさせていただきました。その経験は彼女にとって、町の行政に関心を持つ、一歩となったと思います。若者の政治離れが叫ばれる昨今、この機会に、自分たちも町の重要部分を担う町の教育制度を作る一端を担ったという経験をさせてあげるのは大切なことだと思います。学校教育課や教育委員の方々に多大なご負担をかけることになるかとは思いますが、どうかご検討いただければ幸いです。

意見2（上高小保護者）（電話及び入力フォーム）

- ・4校→2校→1校の2段階での計画策定（案）の場合には、途中で計画の見直しが必要と考える。
- ・公聴会で出た意見を集約した後、素案の改定案を示し、公聴会の意見でもあったように、今回のように確認できる機会をお願いしたい。
- ・統廃合に向けた準備委員会等の設置については、体育着等(学用品)、時間割、行事などそれぞれの学校で違っており、例えば体育着はそのまま使用できるのか、新調しなければならないのか、授業の時間割や行事はどうなるかなど、他の自治体の事例など検討材料があると良いと思う。
- ・新しい環境になった時に児童、先生、保護者など学校関係者へのストレスチェックやアンケートの実施をお願いしたい。
- ・統廃合の準備が、準備に携わる先生の負担となり、授業などがおろそかにならないよう、加配などの配慮や統廃合の準備に向け、専属で先生を配置するなどをお願いしたい。
- ・統合について、東小に吸収されるのではなく、対等な形で統合されるべきだと思うので、学校名の変更なども検討をお願いしたい。
- ・統合した場合に小規模特認校から元の学区に戻ることができるのか、そのまま統合校に通うのかなど心配である。
- ・統合する時期によって、兄弟で既存校、統合校と別々の学校になってしまうのではないかと心配している。
- ・児童と先生方も学区の統合に関して不安事項があると思うので、ヒアリングの実施を希望します。
- ・計画案ができた時点で、児童への直接の説明を希望します。こどもたちにとって、統廃合の話は突然のことで、不安に思っているようです。
- ・上高小から阿小に転校する児童の対応について具体的に教えてください。学校規模が違いすぎるため十分な事前情報が必要です。事前に転入先の教育方針やカリキュラム、授業、家庭学習の方針などを知る機会を設けてほしいです(特に阿久津小学校や西小学校に転入する場合)。
- ・小規模特認制度を利用している児童の場合、学区内の学校か東小かを選択できるものと考えます。いつの時点で転学する学校を決めるのでしょうか？選択するに当たり、事前に両校の学校の見学(体験)ができるようにご配慮をお願いいたします。選択できない場合は、その旨お知らせください。

- ・使用している教科書は同じものですか？
- ・場合によっては、保護者のサポートもお願いします。転校は子供だけでなく、親にとってもストレスの要因となります。

【基本計画素案について】

目次：目次を入れてください。

P. 3：R6年の小規模特認制度入学者が0人と聞いています。次年度から小規模特認制度での入学募集を停止し、小規模特認制度利用者の在籍が0人になるR11年度に統合することにしては、いかがでしょうか。

P. 4：『教育条件の改善』を目的とし、『子どもたちにとってより良い教育とは何か』に主眼を置くこととありますが、本計画での「教育条件」、「子どもたちにとってより良い教育」が何を指すのかを明記いただけないでしょうか。P. 5の点線枠内の記載がそれであれば、「P. 5点線枠内参照」の記述をお願いします。

P. 4、P. 5：「4. 学校規模適正化検討委員会における検討経過」と「5. 学校規模適正化に関する基本的な考え方」のつながりが悪いと思います。次ページと内容が重複しますが、「4. 学校規模適正化検討委員会における検討経過」の後に、「5. 高根沢町学校規模適正化検討委員会による検討結果」として、答申の「6 望ましい学校規模の考え方」と「7 望ましい学校規模の実現方法」を入れてはいかがでしょうか。考えに至った理由(根拠)も記載していただけると、より分かりやすくなります。

P. 5：視覚的に分かりやすくするため、点線枠内の文章を箇条書きにできないでしょうか？

P. 5：小規模校のメリットデメリットに関する表と小規模特認校のメリットを追加していただけないでしょうか。小規模特認校のメリットは「少人数での細やかな指導」だけではないと思います。

P. 5：「今後は違った形で『少人数での細やかな指導』を実現する必要があります。」ここでいう「少人数」は20-30人学級を指すのでしょうか？習熟度別クラスの実施等でしょうか？あるいは、教員の加配を計画しているのでしょうか？現時点での方針があれば、方針を記載するか、「〇〇計画参照(リンク)」などのように参考資料を明示してほしいです。方針が未策定であれば、「今後計画を策定する予定」などの記載があるといいと思います。

P. 6：6. 小規模小学校4校の統合方法の検討 (1) 統合方法の例～ (2) 統合方法の比較・検証

パターン1とパターン2を①教育的観点、②公共施設の管理の観点、③地域コミュニティの観点から比較できるように、記載の順序を工夫してください。

例：①小規模小学校4校を1校に統合する場合 (パターン1)

i 教育的観点(学級数、学級当たりの児童数、通学距離、通学に係る時間に対するメリット、デメリット)

ii 公共施設の管理の観点(メリット、デメリット)

iii 地域コミュニティの観点(メリット、デメリット)

②小規模小学校4校を2校に、2校を1校に段階的に統合する場合 (パターン2)

i 教育的観点(メリット、デメリット)

ii 公共施設の管理の観点(メリット、デメリット)

iii 地域コミュニティの観点(メリット、デメリット)

P. 6 : 『『新たな学校の整備』あるいは『既存校舎の増改築』といった施設の整備・維持管理に係る大きな検討課題が生じることとなります。』との記載がありますが、既存校で、教室として利用可能な教室数を「新たな学校の整備」や「既存校舎の増改築」の必要性和規模を本計画素案からは読み取ることができません。「高根沢町学校規模適正化検討委員会 会議資料～学校の適正規模・適正配置等検討のための基礎資料～(抜粋版)」P. 6～P. 11 からも読み取ることができませんでした。既存校で教室として利用可能な教室数を記載するか、素案策定時に検討した「既存校舎の増改築」の内容を明するか、での「〇〇計画参照(リンク)」などのように参考資料を明示してほしいです。

P. 6、P. 8 : 図内の文字とスケールバーが小さすぎて読めません。読めるように大きくしてください。

P. 7 : 小学校を3校体制にした場合でも、R10年には単学級が発生し、規模適正化の目的を達成できません。2校体制への検討は行わなかったのでしょうか？統合第2段階において、小学校を2校体制にする検討を行ってもいいのではないのでしょうか？

P. 7 : 表の注釈として「学級数の算出は1学級当たりの最大児童数を30人とした」などの記載があると、分かりやすく丁寧な説明になります。追記の検討をお願いします(参考資料6を参照すると、現状の最大児童数を35人学級をから算出したのでしょうか?)。

P. 7、P. 9 : 表の補足情報として、各学校における学年ごとの学級数があると分かりやすくなります。「各学校における学年ごとの学級数の詳細については、参考資料6、参考資料7を参照のこと」等の文言の追記の検討をお願いします。

P. 9 : P. 14には、「東小学校が、長寿命化を目的として予防保全のための大規模改修を行う『令和20年度』頃についても、第2段階の統合時期を考える1つの目安になると考えられます。」との記載があります。令和20年度を検討時期の目安とするのであれば、児童数の推計表もR20年+ α まで記載していただくと、分かりやすくなります。

P. 10 : (2) 統合方法の比較・検証、〇3つの観点による比較の表に以下の追記をお願いします。

①教育的観点に通学に関する事項、②公共施設の管理の観点にコスト、③地域コミュニティへの具体的な影響の内容

P. 10 : (2) 統合方法の比較・検証、〇3つの観点による比較の表で「第2段階の統合で望ましい学校規模となる」とありますが、推計によると単学級の学年も生じます。「第2段階の統合で望ましい学校規模に近づく」という書きの方が適切ではないでしょうか。

P. 11、P. 12 : 直感的に分かりにくいので、学区ごとの色の統一をお願いします。例：阿小：赤、西小：緑など

P. 11、P. 12、参考資料1・2・5・6 : スケールバーを直感的に分かる長さ(2kmや5km)に変更をお願いします。縮尺も直感的に分かりやすく変更をお願いします。100,000万分の一の縮尺での作成が可能なはずで。

P. 12：図の凡例の統一をお願いします。P. 12 の凡例には 6km 圏外の記載がありますが、図のどの部分を指すのかが分かりません。

P. 14：「統合準備委員会（仮称）」で検討する内容(想定)を参考資料として掲載してください。統合対象の保護者は、統合にあたってどのようなことを検討し、活動が発生するのかが分からないためです。

P. 14：統合に対する児童、保護者の心の負担軽減のための計画についても記載をお願いします。例：「スクールカウンセラーによる児童に対する定期的なヒアリングを実施する」など、心のケアに努める等。

児童の心のケアについては、重要な項目だと考えます。可能であれば、項立てしていただき、具体的な計画を策定してほしいです。

P. 14：統合の対象となる児童に対しての説明をいつ、だれが、どのように実施するのかの追記をお願いします。

P. 15：「【統合第2段階】に ◆第2段階の統合として、『北小』と『東小』を統合します。これにより、小学校は『阿久津小、統合小、西小』の3校体制になります。」との記載がある一方、「今後進んでいく公共施設全体の見直しとの整合を図りながら、検討委員会等の諮問機関を設置して総合的に検討していきます。」との記載もあります。「阿久津小、統合小、西小」が決定事項でないのであれば、「これにより、小学校は『阿久津小、統合小、西小』の3校体制になります。」と明言しない方が良いのではないのでしょうか。あるいは、「現時点での計画として」などの但し書きを入れたほうが良いのではないのでしょうか

意見3（上高小保護者）（入力フォーム）

・町がリリースするタイミングが非常にイマイチでした。入学式の時に教育委員会の来賓（課長）から本件について一切言及なく、また 150 周年行事の直後に素案の発表と非常に最悪な対応が続いています。客観的に申し上げますと、有識者の言っている分析は、あくまで都市部の考え方であり郊外、特に小規模特認校など、一定の事由を背景に通わせている状況を踏まえたうえで統合案を出すべきでありました。つまり、上高小は独立させ、受け皿として残す、若しくは少人数学級を望む学校として再整備するなど。30人学級が望ましい？これは大人のエゴであり、若い先生では30人学級は無理という方も多いのではないのでしょうか。少人数学級やクラス替えが無いと不登校が増えるなど、勝手な憶測であり失笑してしまいます。西小、阿久津小などの都市部の考え方と、農村部の考え方を同一で扱うことは好ましくありません。上高小、少人数学級を求める保護者のための学校を残す方に私は一票です。と言いますか、町民広場に新庁舎を移転するのに、最寄りの中央小を廃止するのでは本末転倒ですね（これから農振除外して住宅地を増やす考えがあれば、再度学校建設をするのでしょうか）。また、北小も校舎改修で立派ですし、急激な人口減と言う割に、先見の目が無かったと言わざるを得ません。繰り返しとなりますが、150周年行事をやった直後に統廃合を出すやり方、非常によろしくないし、保護者の反感は強いです。また、これは全国統一で行われている施策であることを伏せ、あたかも高根沢町限定の施策の様に振舞っていることも問題かと思えます。仮に統合を強権的に進めるのであれば、生徒のためを思えば、卒業するまでは現在

の学校で卒業させるなど、緩和措置が必要ではないでしょうか？その間、新入生受け入れは統合校とすれば、お互い納得するでしょう。

(3) 各学校の学校運営協議会の意見

中央小学校学校運営協議会（1項目）

・西高谷地区は現在、中央小に通学する子と東小に通学する子に別れています。中央小のうち北中学区は北小に統合するとなると、西高谷地区は北小と東小に別れることになるので、西高谷地区を同じ1校に通学することも検討していただきたい。

北小学校学校運営協議会（1項目）

・先日の北小学区の公聴会に出席したのでそのことを報告します。一昨年の学校規模適正化の説明会では、出席者は5名ほどしかいませんでしたが、今回の公聴会は10名以上の出席がありました。学校がなくなることで地域コミュニティが廃れていく懸念や、地域に家を建てる人が減ることが憂慮されるため、統合には賛成できないと私の意見を言いましたが、保護者から「なるべくなら負担の少ないよう1回で統合してほしい」という意見があったのを聞いて、なるほど一理あると、意見が変わりました。

上高小学校学校運営協議会（4項目）

・財政など様々な理由から統合も仕方ないという個人的立場から申しますと、統合は一度にやった方が、いろいろな負担などが1回で済むと思います。

・学校が廃校となった後の、地域コミュニティへの配慮をお願いしたい。跡地やハコ物としての学校の利用方法を検討してぜひ活用していただきたい。

・例えば、廃校舎の利用方法としては、不登校の子どもやハンデのある子どもなどが学ぶ場とすることを提案したいと思います。

・来年度の小規模特認校制度利用の申込みがゼロだったことは、少なからず今回公表した素案の内容が影響していると思います。小規模特認校制度で通学する子ども達がいままで上高小に通えるのか、この制度を今後どうするのか、きちんと計画した上で、基本計画の案を出していただきたい。

・町のホームページにはまだ公聴会の議事録が掲載されていないようなので、どのような意見が多かったかなど、比較できるように公開していただきたい。

・パブリックコメントを実施する段階で、あらためて公聴会を開催していただきたい。今後検討が進んだら、最終案ではなく、第2次案という形で示していただきたい。